



B€theONE News

“かけがえのない存在”たれ!

B€the ONE 羽衣国際大学
HAGOROMO University of International Studies

現代社会学部 現代社会学科
放送・メディア映像学科
人間生活学部 人間生活学科
食物栄養学科

〒592-8344 大阪府堺市西区浜寺南町1-89-1
TEL 072-265-7000 FAX 072-265-7005
http://www.hagoromo.ac.jp/

はごろもこくさい 検索

バドミントン関西学生女子3部へ

昨秋5部・今春4部連続優勝

昇格



3年 上江洲



2年 知念



1年 日野

バドミントンの関西学生春季リーグ戦女子4部の羽衣国際大は5戦全勝で4部優勝を飾り、3部との入替戦にも快勝して昇格を決めた。

全勝で昇格決める 女子リーグ戦

【女子リーグ戦メンバー】

上江洲虹歌	(食物栄養学科3年)
知念さつき	(食物栄養学科2年)
中村茉莉子	(食物栄養学科2年)
山内環未	(食物栄養学科2年)
日野あかり	(食物栄養学科1年)
安次富ひより	(現代社会学科1年)
渡邊遥	(現代社会学科1年)

女子は初戦で第1、2シングルスと落とす苦しい立ち上がりだったが、知念の単複での活躍などで逆転勝ち。そのまま波に乗って4部優勝へ駆け上がった。迎えた3部との入替戦。滋賀大経済学部を相手に第1シングルスで白星を献上したが、第2シングルの

男子岡村・福原組 & 女子日野・安次富組8強



6月に開幕した関西学生選手権(個人戦)には、リーグ戦を戦った男子5選手、女子7選手が出場した。シングルスは男女とも3

回戦進出が最高だったが、ダブルスでは男子の岡村・福原組、女子の日野・安次富組が快調に勝ち上がった。

上江洲がファイナルゲームの末に粘り勝ち、マッチ1オールとした。

続く第1ダブルスの知念・中村組はうまく左右に散らしてくるラリーに苦しみながらも徐々に対応し、第1ゲームを22・20と競り勝つ。第2ゲームはコンビネーションの良さを発揮して快勝した。

第2ダブルスの日野・安次富組はテンポのいい攻撃でストレート勝ち。マッチカウントを3・1とし、見事3部昇格を決めた。男子は5部に出場。あと一步のところまでブロック2位の留まり、秋季リーグ戦での4部昇格を目指す。

【男子リーグ戦メンバー】

岡村充	(現代社会学科3年)
北嶋遼平	(現代社会学科3年)
福原怜司	(現代社会学科1年)
松本多朗	(現代社会学科1年)
北野暖樹	(現代社会学科1年)

関西学生選手権

た。男子ペアは4回戦、1年生同士の女子ペアは3回戦をストレート勝ち。そろって準々決勝にコマを進めた。

2ペアとも4強進出は阻まれたものの、今後の成長に向けて、自信と発奮を得たベスト8だった。



大阪総合選手権に挑戦

バドミントンの平成30年度大阪総合選手権にバドミントンクラブから、男子・岡村充(現代社会学科3年)と女子・知念さつき(食物栄養学科2年)が出場した。女子シングルの知念は全国屈指の強豪高校である四天王寺高の選手と対戦。第1ゲームは相手のコート

いっぱい打ってこるショットにペースがつかめず落としたが、第2ゲームは先手を取るラリーで主導権を握り、逆転で勝利。7月28日に行われる2回戦に進出した。男子シングルの岡村は、競り合いを抜け出せず初戦敗退に終わった。

また、一緒に練習している羽衣学園中学3年の小山志月君が社会人選手にファイナルゲームで勝ち、2回戦に進出した。

今後、大阪総合選手権には、シングルスで勝ち進んだ知念のほか、7月14日に知念・安次富ひより(現代社会学科1年)組が女子ダブルスに出場する。

大会成績

- ◆関西学生春季リーグ戦
 - 男子5部Cブロック
 - 羽衣国際大0・3・2兵庫教育大
 - 0・5・0帝塚山大
 - 女子4部Aブロック
 - 2・3流通科学大
 - 羽衣国際大0・3・2大阪国際大
 - 0・5・0奈良女子大
 - 0・4・1関西外大
 - 国際言語学部
 - 0・5・0京大
- ◆関西学生選手権
 - 男子シングルスA1回戦
 - 岡村 1・2 光井神院大
 - 北野 0・2 橋田四天王寺大
 - 福原 0・2 門川摂南大
 - 松本 0・2 山地桃山大
 - 北嶋 0・2 藤間大阪市大
 - 〔同2回戦〕
 - 福原 0・2 小林関西外大
 - 松本 0・2 星田大阪成蹊大
 - 北嶋 0・2 丸山大阪成蹊大
 - 〔同3回戦〕
 - 福原 0・2 辻大産大
 - 〔男子ダブルスB1回戦〕
 - 松本・北野 1・2 樋口矢野(京大)
 - 岡村・福原 0・2 木下志磨(大阪大)
 - 〔同2回戦〕
 - 岡村・福原 0・2 玉手内藤(興聖寺)
 - 〔同3回戦〕
 - 岡村・福原 0・2 菅野久野(龍谷大)
 - 〔同4回戦〕
 - 岡村・福原 0・2 繁昌大塚(天体大)
 - 〔同準々決勝〕
 - 岡村・福原 0・2 梅本中井(滋賀大)
 - 〔女子シングルスB1回戦〕
 - 日野 0・2 渡邊(京大)
 - 山内 0・2 吉田(大阪成蹊大)
 - 渡邊 0・2 太田(京産大)
 - 〔同2回戦〕
 - 日野 0・2 0加茂(摂南大)
 - 知念 0・2 0藤野(摂南大)
 - 上江洲 0・2 0柳生甲南大
 - 〔同3回戦〕
 - 日野 1・2 東新四天王寺大
 - 知念 1・2 矢野(天体大)
 - 上江洲 0・2 竹澤(大阪成蹊大)
 - 〔女子ダブルスB1回戦〕
 - 上江洲・山内 0・2 0加茂藤野(興聖寺)
 - 日野・安次富 0・2 0名手吉村(天体大)
 - 〔同2回戦〕
 - 知念・中村 0・2 0橋本渡邊(京大)
 - 上江洲・山内 0・2 0岩崎清弘(天体大)
 - 日野・安次富 0・2 1上岡杉原(佛光)
 - 〔同3回戦〕
 - 知念・中村 0・2 0村田山口(天体大)
 - 日野・安次富 0・2 0竹代河野(天体大)
 - 〔同準々決勝〕
 - 日野・安次富 0・2 小倉黒島(興聖寺)



女子駅伝部 課題浮き彫りの春シーズンの練習で自信を付けて駅伝へ

岡(食栄2年)大阪インカレ1万m2位

女子駅伝部は今季序盤、大阪・関西・西日本の各学生対校選手権(インカレ)に出場。故障などによる冬季から春先の練習不足が結果に影響し、収穫よりも現状の実力を知るレースが続いた。練習の継続を止める要因(足の痛みや貧血など)を克服し、あれだけ練習したから、自己ベストで走れる、という自信につながる練習を積んで、9月の関西学生対校女子駅伝や秋のトラックシーズンにつなげたい。

大阪インカレ

岡が1万m初挑戦で2位

大阪インカレの1万mに岡奈津美(食物栄養学科2年)と南野結芽(同3年)が出場した。岡は中盤以降ペースダウンしたものの、西日本インカレの参加標準記録A(36分30秒00)の突破を目指して、ラスト1周を懸命にスパート。36分28秒52で目標タイムを達成した。

南野は、関西インカレ参加標準記録B(37分45秒00)を突破する37分12秒74。長い距離を一定ペースで走ることを苦手としていたが、この日は一定ペースで走れ



たことが収穫だった。

1500mには宇田川里奈(現代社会学科2年)、畑中涼芳(同)、東美月(同4年)が出場。宇田川と畑中は関西インカレ参加標準記録A(4分45秒00)を突破するだけの練習を冬季からこなし続けていたが、直前の故障で仕上がりが悪く、突破ならず。もったいないレースになってしまった。



主要大会成績

大阪学生選手権(4月5日)

「女子1500m」⑧宇田川4分53秒95⑨畑中5分05秒51⑩東5分14秒70「女子1万m」②岡36分28秒52④南野37分12秒74

関西学生対校選手権(5月10・13日)

「女子1500m」▽予選1組⑩池田4分57秒38▽予選3組⑩久須5分06秒58「女子5000m」⑥岡17分44秒00⑦宇田川18分01秒11「女子1万m」⑦岡35分46秒58⑧南野36分27秒45「女子3000mSC」⑨久須12分13秒44

関西インカレに6人出場

2人出場の前年からチーム力底上げ

関西インカレ初日の羽衣国際大は女子1500mから始動した。同種目には池田亜由佳(人間生活学科)と久須優奈(食物栄養学科)の1年生2人が出場。進学直後で練習不足を覚悟して臨んだが、ともに想定タイムより10秒ほど遅かった。悔しさを次の西日本インカレに活かしてほしい。1万m出場は岡と南野。

うれしい標準突破

南野結芽(3年)

「初めての関西インカレでしたが、緊張せずリラックスして試合に臨むことができました。チームの中で一番練習していたという自信があったので、36分30秒の西日本インカレA標準を突破でき、とても嬉しかったです。監督、コーチ、片山先生、チームメイトなど、多くの人のサポートがあったからだと思います。西日本インカレでもベストを更新できるように頑張ります」

練習の大切さ実感

岡奈津美(2年)

「今回、1万mと5000mに出場しました。どちらも粘る走りができずとても悔しい結果となってしまいました。このような結果になってしまったのは冬に全然練習ができていなかったからです。練習の積み重ねの大切さをも感じた大会となりました。この悔しさを忘れず、次の西日本インカレでは良い結果を出せるようにしっかりと練習をして挑みたいと思います」

自己ベスト届かず

池田亜由佳(1年)

「1500mに出場し、自己ベストが出ると言われていた試合でしたが、自己ベストを出せず悔しいレースでした。今回の試合で自分の考え方、日常生活の甘さが分かりました。悔しい気持ち忘れずに次の西日本インカレでは自己ベストを出せるように頑張ります」

生活も見直す

久須優奈(1年)

「今回、2種目に出場しましたが、どちらも情けない結果に終わってしまいました。今回の試合で感じたことを忘れずに練習に真剣に取り組むことだけでなく、食事や睡眠などの日常生活もイチから見直して、今後の試合で目標を達成できるようにしていきます」

岡は12〜17位集団で5000mを通過したが、8000m以降、集団からふるい落とされた。35分46秒58で、大阪インカレのタイムを約32秒更新したが、今季はこれまで中盤以降にペースダウンするレースが目立つ。まずは練習量をしっかりと戻したい。南野は36分27秒45。大阪インカレ時のタイムを約45秒も短縮した。西日本インカレA標準も突破したことは大きな収穫だった。最終日の5000mには、1万mで自己新をマークした岡が出場したが、序盤から体が重く、反省点の多いレースになった。岡は昨年同様、短期間にレースが続くと走れないことが多かったが、これでは上のレベルにいけないため、レースが続いても実力をしっかりと出し切れるようになることが、今季の課題といえる。同じく5000m出場の宇田川も3月から練習不足が続いており、粘りを欠いた。駅伝までに我慢強さを鍛えておきたい。

私の夢・食物栄養学科編

「管理栄養士×駅伝」を叶える

スポーツ栄養士

南野結芽(3年)

「全日本大学女子駅伝出場と管理栄養士国家試験合格の『2冠』を成し遂げたいです。昨年はアスリートのレスピコンクールで優秀賞をいただきました。駅伝部の下宿生のために栄養満点メニューや低カロリーメニューを考えています。卒業後は五輪などで活躍するトップ選手の栄養サポートをすることが最大の目標です」

外資系&管理栄養士へ

足日瑞姫(2年)

「管理栄養士を目指す勉強と、全日本女子大学駅伝に出場するための練習に日々取り組んでいます。英語にも興味があり、本学教職員の方々の指導の下、TOEIC800点を目標して勉強中です。大学で身につけたことを生かして、将来は外資系企業への就職、管理栄養士、どちらも目標です」

2018年度 member



福田明里 人間生活学科 生活福祉コース4年 兵庫県立山崎高校出身

東美月 現代社会学科 スポーツコース4年 大阪・星翔高校出身

足日瑞姫 食物栄養学科2年 兵庫県立西宮高校出身

畑中涼芳 現代社会学科 スポーツコース2年 大阪薫英女学院高校出身

岡奈津美 食物栄養学科2年 和歌山県立和歌山北高校出身

南野結芽 食物栄養学科3年 大阪育英高校出身

久須優奈 食物栄養学科1年 大阪府立津南高校出身

池田亜由佳 人間生活学科 食クリエイトコース1年 和歌山県立和歌山北高校出身

古田美月 食物栄養学科1年 大阪・関西大倉高校出身

宇田川里奈 現代社会学科 スポーツコース2年 鳥取県立鳥取中央育英高校出身

調理の技術は徐々に向上し、自炊経験のない部員も含めて、全員が栄養バランスのよい食事を整えられるようになってきています。



▶足日・岡考案メニュー(夕食) 高たんぱく質・筋力アップ 調理担当:足日・岡



▶南野考案メニュー(夕食) 鉄分豊富で貧血予防に最適 調理担当:宇田川・池田



豪快フルスイング

リーグ戦チーム史上最多本塁打

硬式野球部

最終戦で3ランを放つ(今季2本目)



桂田大成



谷川亮介



小谷篤裕



坂本凌



森川侑哉

Ⅲ部リーグ5位
投手を中心とした「守りの強化」が課題

近畿学生野球連盟の平成30年春季リーグ戦において、Ⅲ部優勝を掲げて臨みましたが、4勝4敗となり、Ⅲ部5位の成績で春季リーグを終えました。

昨秋の課題であった守備面では、8試合で26失点(昨秋30失点、失策が9個(昨秋14個)。数字のうえで、昨秋よりも守備の内容は良かったものの、記録には残らないミスや与えた四死球が失点につながり、終盤に逆転されるケースが目立つ悔しい戦いとなった。

攻撃面では、長打が目立ち、1シーズンにチームが放った本塁打は「4本」。チームの最多本塁打記録になりました。打撃練習の成果が見て取れた一方、得点



首位打者 & ベストナイン W受賞

落合亮



小西力斗

の好機に一打が出ない場面もありました。「試合で実力を発揮するためには、まずは実力をつけることが第一」との意識で攻守を鍛え、Ⅲ部優勝を目指して再び努力を続けます。

わたしは肩を痛めたため、打撃でチームに貢献しなければならぬという思いで取り組みましたので、少しでも力になれたのでよかったです。



森川侑哉

(現代社会学科4年)

Ⅲ部ベストナイン

ムメイトのおかげです。本当に感謝しています」

祝 落合と森川が個人賞受賞

大会成績

◆近畿学生野球春季リーグ戦(Ⅲ部)

(1次リーグ)

羽衣国際大

● 5 - 8 奈良教育大

[投]●小西、岩本

[本]森川1号

● 0 - 2 兵庫県立大

[投]●岩本

○ 13 - 3 大阪薬科大

[投]○小倉

[本]落合1号

● 5 - 6 神戸医福大

[投]小西、●岩本

● 0 - 5 奈良大

[投]●岩本、小西

○ 放棄試合 大阪歯科大

(2次リーグ)

羽衣国際大

○ 11 - 1 大阪薬科大

[投]○小西

[本]森川2号、桂田1号

○ 放棄試合 大阪歯科大

【Ⅲ部個人賞】

ベストナイン

外野手 森川侑哉(4年)初受賞

指名打者 落合 亮(4年)初受賞

首位打者

打率.647 落合 亮(4年)初受賞

硬式野球部の指導方針

- 野球を通じて人間形成を図ります。
「学生の本分は勉強、学生野球の本分は練習です。公式戦も大切ですが、それよりも大切なのは日々の練習だと思っています」
- 目指すは、礼儀正しい大学野球部
- 文武両道を目指す大学野球部
- 高校より感動できる大学野球部

「今回、ベストナインに選んでいただいたことを嬉しく思います。また、自分をここまで成長させてくれた指導者の方々、チームメイト、羽衣国際大学野球部にとても感謝しています。この経験を糧に、これからの人生においても努力する姿勢を大切にしていきたいと思えます」

監督

伊丹康治 (本学職員)



日本体育大学では、捕手として明治神宮野球大会、大学野球選手権大会に出場(ともにベスト4)。

和歌山・初芝橋本高校のコーチとして、夏の甲子園大会出場。監督も務める。2016年秋に大学野球部の監督に就任。入試センターにて学生募集にあたる。

部長

合澤浩之 (現代社会学部教授) 早稲田大学出身

総監督

竹之内雅史



神奈川・鎌倉学園高校では、内野手として春の甲子園出場。日本通

運(社会人日本一)を経て、西鉄ライオンズ、阪神タイガースなどで主軸打者として活躍。引退後は阪神タイガース、ダイエーホークス、横浜ベイスターズなどでコーチ・二軍監督を務める。

近畿学生野球秋季リーグ戦日程

- 開会式 9月1日(土)
大阪シティ信用金庫スタジアム
- Ⅲ部リーグ 8月28日(火)~10月3日(水)
住之江球場、奈良教育大
- 各部入替戦 10月23日(火)~26日(金)
豊中ローズ球場

春季リーグ連戦の記録



薦田星利亜 (1年)



加藤真悠里 (1年)



西久保七海 (1年)



勝利を喜ぶメンバー

Dream is infinite!

～夢は無限大～

チームスポーツにおける協調性と選手の特徴をいかしながら、強く、たくましく、そして愛されるチームづくりを目指します。



関西学生春季リーグ3部3位

勝利に向かってチーム力UP誓う

日本リーグ第5戦 京都大会観戦

いつもお世話になっている「SGホールディングス ギャラクシスターズ」の応援に行きました。緊迫した試合経過でしたが、終盤にステイシー・ポーター選手のソロホームランが飛び出し、「SGホールディングス ギャラクシスターズ」が1-0で勝利しました。歓喜の盛り上がり、本学の学生たちもたくさんのパワーをもらいました。試合後は全員で小林監督、加藤コーチに挨拶し、写真撮影を行いました。



SGH小林監督、選手の方々と



SGH加藤コーチと

今リーグは本学のソフトボール部がスポーツ推薦入学選手のみで戦う、初めてのリーグ戦でした。それだけに期待値も高く、昨年よりも勝ち星を挙げることができると意気込んで臨みました。

しかし、ふたをあけると、毎試合苦しい展開の連続であり、勝ち星を昨年より増やすことができませんでした。ただその中でも、長打数が増えたことや、下位打線からでもチャンスを作り、得点することができたことなど、チーム力がアップしたところも見えました。

現在は秋リーグに向けてクリアしなければならぬ課題や基礎練習を行い、少しずつでもレベルアップして行けるよう、全員一丸となり練習に励んでいます。まだまだ始まったばかりのチームです。ご支援をよろしくお願ひ致します。

監督 小林朝子
推薦組で挑んだリーグ戦
チーム力アップが見えた

この春季リーグ戦の結果を糧にし、個々のレベルアップとともに、チーム一丸となって目標達成、勝利に向かって貪欲になり努力していきます。

夏を越え強くなったチームを、秋季リーグで皆さんにお見せしたいと思っておりますので、引き続きご支援をよろしくお願ひ致します。

顧問 数井敏男
春季リーグの結果は、II部にてリーグ戦を戦うという目標を達成することができませんでした。多くの優秀な1年生が入部し、期待していただけに残念でしたが、よく考えれば入部してまだ1ヶ月の1年生に対して、期待しすぎだったのかもしれない。

| |
|------------------------|
| ◆平成30年度春季関西学生リーグ戦(女子) |
| 〔2部1次予選リーグ(B2)〕 |
| 羽衣国際大 ● 1-13 太成学院大 |
| ○ 8-3 天理大 |
| ● 2-5 京産大 |
| 〔2次部別リーグ(3部)〕 |
| 羽衣国際大 ○ 8-0 大阪府立吹奏楽部 |
| ○ 12-4 大阪経済法大 京都学 |
| 羽衣国際大 ● 0-7 びわこ成蹊スポーツ大 |
| ● 1-10 天理大 |
| 〔最終結果〕 3部3位 |

大会成績

勝利に向かって貪欲に努力を



村田 彩莉 (現社/スポーツ)

「チームに貢献できるように、日々の練習を頑張ります」



本山 水月 (現社/スポーツ)

「自分のやるべきことをしっかりとし、チームに少しでも貢献できるように頑張ります」



加藤 真悠里 (放送/放送メディア)

「チームの役に立てるように、がむしゃらに笑顔で頑張ります！」



薦田 星利亜 (放送/放送メディア)

「常に『全力疾走』でプレーに挑みます」



横井 亜美 (人間/ファッションデザイン)

「日々の練習を積み重ね、実力をつくり、自信を持ったプレーができるようにし、さらにチームワークを高めて、目の前の試合を勝利していきたい」



宮本 葉月 (現社/観光)

「チャンスの場面でヒットを打ち、チームに貢献できるよう頑張ります」



吉井 穂乃佳 (現社/スポーツ)

「自分の役割を考えてチームに貢献し、できることを増やしていきたいです」



新藤 芽衣 (現社/スポーツ)

「チームの為に自分ができることを精いっぱい頑張っていきます」



西久保 七海 (現社/スポーツ)

「笑顔・全力」を忘れずに常に向上心を持って頑張ります」

無限大の夢に向かって

ソフトボール部 期待のルーキーたち